

# 一般質問

4 柳田 光芳 (公明党)

● 带状疱疹ワクチン接種について  
● 三県架橋について



【带状疱疹ワクチン接種について】  
柳田 本市における带状疱疹患者数はどのように推移しているか。

健康増進課長 全体の患者数は把握できていないが、国民健康保険加入者における患者数は、令和元年度は357人、令和2年度および3年度は340人となっている。

柳田 市からワクチン接種の周知はしているのか。

健康増進課長 任意接種の周知は実施していないが、市民が正しい情報を得るため、今後はホームページ等を活用し周知していく。

柳田 带状疱疹ワクチン接種への助成を進めるべきと考えるが、市の見解は。

健康福祉部長 国の動向を注視しながら、带状疱疹の疾病、接種状況を把握し、今後検討していく。



【三県架橋について】  
柳田 本市における三県架橋への取組は。

政策企画課長 昭和62年に長崎県、鹿児島県および熊本県の2市13町で架橋建設促進期成会を設置し、3県の協議会と連動した交流促進事業などの活動を行いながら、機運醸成を図っている。

柳田 市長として今後どのように機運を高めていくのか。

市長 地元期成会会長としても国等への働きかけを強く行っていき、地方大会などを通じて、架橋の重要性を強く訴えながら実現に向けての取組を進めたい。



▲三県架橋イメージ図

5 勝木 幸生 (天政会)

● 道路インフラ整備について  
● マリンスポーツのルールづくりについて



【市道全般の整備について】  
勝木 予算増額による市道の整備促進についての考えは。

市長 支所の要望を基に、予算の範囲内で計画的に整備する。

勝木 県道本渡五和線の二江(君川水)、県道坂瀬川御領線の御領(山浦入口)の整備状況は。

建設部長 二江(君川水)間は、今年度より土地取得に関する地権者への意向確認を行う予定。御領(山浦入口)は県と協議し、山切工事の事業化に向けた取組を進める。

勝木 少子高齢化が進む中で、今後も里道の維持管理を地域住民に対応をさせるのか。

建設部長 現在は、市が整備した施設や生活道路の災害復旧は市で対応しているが、里道は地区で維持管理いただいている。今後は、他市の状況を調査・確認しながら研究する。

【マリンスポーツのルールづくりについて】  
勝木 水上バイクの危険行為に対する規則や条例制定の考えは。

観光文化部長 条例等は制定せず、安全運航協議会を中心にルールやマナーの徹底に取り組む。

市長 「イルカと暮らす島」、「イルカの聖地」であることを理解いただき、漁業者の安全確保や迷惑行為・危険行為の抑止につなげたい。



【観光客誘客の取組について】

勝木 長崎県との広域連携による観光客誘客の方策を調査・研究し、長崎県から本市への誘客が促進される取組を要望する。

6 吉田 修 (無党派)

● 熊本・天草90分構想とこれからの観光のランドデザインについて



吉田 90分構想はいつ完成するのか。

建設総務課長 熊本天草幹線道路の計画は、70kmのうち17kmが開通し、現在は熊本宇土道路など29kmの整備が進められているが、全線開通の目的は明確ではない。年に数回、市長が国に対する要望を行い、早期全線開通の重要性を訴えるほか、天草島民集会を開催し機運の醸成を図っている。

吉田 崎津集落が世界文化遺産に



▲世界文化遺産の崎津集落

登録されて早くも4年が経過する。本市は世界遺産効果はあったのか。また、世界遺産を生かすことができたのか。

観光文化部長 崎津集落への入り込み客数は登録前年が8万4,500人、令和元年が15万2,000人と2倍近く増加した。今後も文化的景観の維持などにより、継続的な誘客につなげる。

吉田 これからの観光のランドデザインをどう示すのか。

市長 これまで先人たちが守ってきたこの美しい島を後世にきちんと残す義務がある。20年、30年先に、天草が世界から真に目指される場所になるには宝を磨き上げ、価値を高めなければならない。

吉田 本市は現状、移動に不利な地域である。西九州新幹線も開業し、より広域的な観光の在り方を考える時に来ている。ぜひこれからも市民の皆様に観光のランドデザインを示してほしい。

7 小川 圭三 (天政会)

● 第3次総合計画策定について  
● 支所機能充実の予算措置について



小川 本市では、現在第3次天草市総合計画を策定中であるが、策定の趣旨、背景、役割はどういったものなのか。

総合政策部長 総合計画は本市における最上位計画として位置づけ、本市の将来像を描き、まちづくりの目標や政策などを明らかにし、市民と行政の協働により将来像を実現する計画である。

小川 市長は、就任後初めて地域づくりの最上位の計画を策定されるが、どのような思いで策定されるのか。

市長 目指す将来像を「ともにつながり 幸せ実感宝の島『天草』」とし、私の市政に対する方針、考えの「つながるチカラでまちづくり」によって、市民一人ひとりが日々の暮らしの中で幸せを実感できる天草をつくる思いで策定する。

小川 支所予算は旧市町の面積や市道・河川の数や延長を考慮し、

予算配分する考えはないのか。

市長 支所の要望は市内全体の整備状況など考慮し、緊急性の高い課題を優先的に予算措置を行う。また、新規・継続事業は予算の範囲内で計画的に整備する。

小川 市長には、ぜひとも市民の要望に答えるためにも、来年度からの重点政策の一つとして支所だけでなく、本渡の周辺地域を含めた、予算の増額を要望する。



QRコードで質問の動画が見られます。

QRコードで質問の動画が見られます。